

# 観光果樹園で汗を流す

11月4日（水）午前、5日（木）午後の両日にわたり、本校生産科学系列3年生の「果樹」選択生9名が、久美浜町浦明の国営開発農地に昨年新設された観光果樹園において実習を行いました。

この観光果樹園は、平田区の果樹農家の方々が設立された「国営浦明団地 果樹観光部会」が休耕畑の有効活用、地域農業・果樹栽培の活性化を目指して京都府や京丹後市と連携して昨年開設されました。

本校生産科学系列は、地域の農業を理解し、授業内容を深化させ、少しでも地域のお役に立てることを目的として参加させていただいており、今年で2年目の取組になります。

部会長の日下部啓作さんから果樹栽培のやりがいや苦労話、観光果樹園開設の経緯等をお聞きし、その後、昨年植え付けられたブドウの苗木の誘引、ナシ園で深耕の作業を行い、心地良い汗を流しました。

生徒達は、「広い果樹園で作業がしんどかったけど、何とかやり切れた。」、「汗をいっぱいかいたけど、終わったあとは心地良かった。」などの感想が聞かれました。

この内容は、6日（金）付け、京都新聞に掲載されました。

